

外旭川病院における看護職員負担軽減計画（令和7年度）

※看護職員の負担軽減や処遇改善の計画を「労働安全衛生委員会」が主体となって作成し、その計画の達成状況の評価を行う

項目	現状	対応方針	具体的な計画
業務の役割分担	看護師が人工呼吸器点検、回路交換、医療機器管理を実施している	臨床工学技士の採用により、医療機器に関連した業務の支援と移行	医療機器の管理 （2病棟倉庫と5階ホスピス倉庫）
			呼吸器点検、回路交換、装着患者の支援等を移行
	看護師が採血に関連した準備、採血を実施している	臨床検査技師の採用により、採血に関連した容器の準備、採血の支援を依頼	臨床検査技師に、採血業務を依頼
			採血に関連した容器の準備、提出の依頼
負担軽減及び処遇改善	看護部委員会が多く、会議等の負担がある	看護部委員会の検討と会議の開催回数と時間の検討	看護部委員会の見直し
			会議時間の変更と開催回数の検討
	療養病棟看護師、1名体制の夜勤看護師の身体的・精神的に負担が大きい	管理夜勤体制の強化	離職率の低下（R6年度9％）
			管理夜勤者以外にリーダー看護師1名を夜勤者に追加し、2名体制で3つの療養病棟を支援
			夜勤可能な看護師の継続的な募集の継続（最低4名）